

はじめに

兵庫県小学生バレーボール連盟審判規則委員会では、これまでに本県小学生バレーボール連盟所属の審判員の資質向上と、円滑な大会運営のため、「基本方針」を示すとともに、その基本方針達成のため、各種の情報発信および研修会等を実施しています。

このラインジャッジマニュアルは、前記の取組の一環として、県内のバレーボール指導者が、大会出場の際に必要な選手によるラインジャッジの指導にかかわる方向性を示すものであります。

特に、初めて指導者になった方においても、統一したラインジャッジの指導が行えるよう、基本事項を中心に作成しています。

なお、本マニュアルは、小学生が理解し実践できるものを目指しているため、公益財団法人日本バレーボール協会審判規則委員会が作成している、ラインジャッジマニュアルとは若干異なることをご理解いただいた上で活用されますよう、お願いします。

役員としての心構え

バレーボールにおける試合のための審判団は、主審、副審、スコアラー、アシスタントスコアラー（以下「AS」と表現する）、ラインジャッジ（以下「LJ」と表現する）、点示員で構成される。

役員として試合に携わる児童は、審判団の一員であることを自覚し、緊張感をもって与えられた役割に取り組むことが必要である。

指導者として、以下に示す内容の指導を心がけていただきたい。

- ◆試合を成功させるために「気持ちのよい態度」「きびきびした行動」を心がけること。
- ◆服装、身だしなみを整えること。
- ◆設定時間（集合時間）に間に合うように、余裕をもって行動をすること。
- ◆個人での勝手な行動をとらず、審判団として常に連絡を取り合うことができるよう、待機、休憩、食事などをすること。
- ◆担当審判員の指示に従って行動すること。
- ◆長い試合になっても集中力が途切れないように、体調を十分整えて試合に臨むこと。
- ◆自分が担当するチームの試合や練習を見て、チームや選手の特徴を把握したり、仲間のLJの試合中の動きなどを観察したりするなど、研究して自分の判定に生かすこと。